



京ヶ峰の四季

第95号

2026年 夏号



第21回 京ヶ峰倶楽部展 テーマ「虹」の作品

「35年を振り返り…入院中心の医療から地域での生活へ」

35年前の4月、私は作業療法とデイケアの開設という重要な責務を負い、当院初の作業療法士として入職しました。右も左もわからない新米が、不安との板挟みになりながらも周囲の助けを借り、開設の準備に奔走していたことを思い出します。また、それらを開設するためには基準看護の取得が必須でした。看護師をはじめ多くの職員が入職し、「知らない職員が増えて名前が覚えられん」と、親世代の患者さまが話していたことを覚えています。今は自分自身がその年代になり、その言葉を身をもって体験しているところです。

入職当時は入院中心の医療でしたが、日中過ごす場所があれば退院につながる患者さまが多くみえました。まだ女性は家庭での役割を持ち、男性が家にいることに引け目を感じる時代でした。退院しても日中を病院内で過ごし、月2回の保健所の社会復帰教室に通うことが日課になっていた人もいました。

そんな時代背景の中、デイケア開所は待ちに待った出来事でした。開所初日は4名でしたが、一時期は100名ほどの参加者が集うこともありました。精神科医療が入院から地域へ移行するにあたり、重要な役割を果たしたと考えます。

その後は、仕事や生活の場所（作業所やグループホームなど）が開所され、また精神科訪問看護や訪問診療も充実し、35年前に比べると地域で生活する基盤が格段に増えました。今は男女ともに育休を取り、リモートワークで働く人もいるなど、働き盛りの人が家で過ごすことは何の不思議もありません。病気であってもなくても、それぞれの思いに添った生活を送ることができるようになりました。精神科を取り巻く環境が整うことへの喜びを感じつつ、その当時、周囲を気遣い、日替わりで行く場所を変えていた患者さまの苦労と工夫をふと懐かしく思い出します。

医療法人芳精会 京ヶ峰岡田病院
リハビリテーション部 部長 竹本 律子

基本理念

一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～

第21回 京ヶ峰倶楽部展 開催のご報告

■開催日：2026年6月24日(水)～28日(日) ■会場：岡崎市美術館

本年は2つの台風が接近し天候が危ぶまれましたが、無事に開催することができました。会場にお越しくださいました皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げますとともに、開催のご報告をいたします。

今回のテーマ「虹」は46点の応募の中から選ばれました。雨上がりに光が射した時に現れる虹を見ると「良い事がありそう」と感じる方も多いと思います。一人ひとりが表現した作品が集まって一つの虹のように連なり、見てくださった方にも思いが伝わる懸け橋になればとの願いを込めました。

作業療法をはじめとした精神科リハビリテーションでは、作品作りだけでなく、身体を動かしたり音楽を楽しんだり、コミュニケーションの練習をしたりと、それぞれの方に合わせた活動を行っています。



デイケアの共同作品



陶芸作品



第21回ポスター



行事用に制作した岡田病院カルタ

そのなかで作品作りは形が残るものであり、それを見るとその時の楽しかったことや頑張ったこと、うまくいかなかったことなど、様々な感情が思い起こされます。前よりも成長した自分を感じ、今よりも成長した自分を想像しながら楽しく作業を行っています。

合計122点の作品展示の他、病院・デイケア・B型事業所などの取り組みも紹介。また、来場者参加型作品「虹に願いを」では、各々の「願い」を色とりどりの付箋に記していただき、ご好評を得ました。会場はたくさんの「虹」に囲まれ、「気持ちりが明るくなった」との感想を数多く頂戴し、大変嬉しく思いました。

来場者数は総勢427名と、お足元の悪い中でも多くの方が会場に足を運んでくださいました。入院中の患者さまにも見学ツアーを開催し、きれいに飾られた作品を嬉しそうに眺めながら、友人やスタッフに作成の様子を話されている姿が見られました。ご家族と一緒に自分の作品を見に来られた方、知り合いから勧められるなどして初めて来場された方も多くいらっしゃいました。京ヶ峰倶楽部展が懸け橋となって、互いの理解や精神障害・精神科病院への理解を深め、一人ひとりがそれぞれに輝いて生きることができる社会に繋がって欲しいという願いが形となっていることを実感しております。今後も皆さまからいただいたご意見を参考に、人々の願いの懸け橋となる場を目指していききたいと思います。



来場者参加型作品



あいさつ文を書かれた患者さまと院長



編み物・縫い物いろいろ

- 手工芸・陶芸 : 52点
- 絵画・写真 : 36点
- 書道 : 20点
- 共同作品 : 11点
- その他 : 3点

第23回 地域懇談会 開催のご報告

2026年5月26日(火)に「第23回地域懇談会」を開催しました。近隣の関係のある46機関、60名の方にご出席いただきました。会の冒頭に院長から「日頃お世話になっている関係機関の皆さまと顔を合わせる貴重な会です。目の前の患者さま、ご家族の方のために地域の皆さまと協力体制を深める有意義な時間としたいと思います」とあいさつがありました。



前半は、当院の現状を報告し、後半は10グループに分かれ、自己紹介や連携について話し合いを行いました。最後は、副院長が「治療や社会復帰は病院だけで完結できません。地域との協力があってこそです。地域全体の質を上げ、安心してこの地域で暮らしてもらえるよう一緒にやっていきたいと思っています」と締めくくりました。

参加者からの感想

連携について共有させてもらうよい機会となりました。意見交換できる場があり、今後どのようにしていけばよいかわかっていたので良かったです。



同職種、他職種、様々な方のお話が聞けて勉強になりました。病院の状況、体制等も聞くことができて良かったです。



顔を見ながらいろいろな立場の方々の話が聞けて、他機関の方と交流ができてよい機会になりました。



- 捨てない 瘦せたら履くのもう10年……… ばんちょ
- ふれあい館がふれ愛になる人……… 春節
- ひまわりも暑さにやられて熱中症……… 小学生・ゆずまる
- ゲームでは人並外れた集中力……… 小学生・あいうえお
- 赤とんぼもみじにカクレてほこ色だ……… 小学生
- 6年生いつもの毎日宝物……… 小学生
- 困ってもあなたの周りだけかいる……… 小学生・さーちゃん
- パーベキュー肉焼くのは日に焼かれ……… 小学生・ねこのみ
- けしゴムをいくら買ってもほぼなくす……… 小学生
- おかあさんおいしいごはんありがとう……… 小学生
- 怖さより進む勇気が道となる……… けい
- あの頃の当たり前が思い出に……… 中学生
- こたつ出しみんなで集う定位置に……… Flower field
- 授業中うなづくリズムで寝落ちする……… 高校生
- 暇な時昔は外へ今スマホ……… 高校生
- 何気ない会話でわかる大事な友……… 高校生
- 退院や不安半分楽しみも……… N.S
- 手工芸とは未来の自分へのプレゼント……… 小野みいたん
- 旅の本買って読むだけのしな……… M.D
- 面会で言えば良かった「退院したい」……… T.H
- 雨上りハスでケロケロ大合掌……… T.I
- 楽しんでつくる川柳前夜祭……… No.1
- マスク下突如現れるほつれい線……… 助けて！コタレンジャー
- 高々と気温と下がらぬ物価高……… H.H
- あらがねば「あれ」「それ」増えるわが言葉……… A.S
- 素直さが会話を広げる一歩です……… じゃんはち
- 永遠に続くと思った夏終わる……… E.T

※掲載順は順不同となります。

ふれあい川柳

第7回 京ヶ峰ふれあいまつり

2025年11月に開催いたしました第7回京ヶ峰ふれあいまつりにて募集をいたしました「ふれあい川柳」に、たくさんのご応募ありがとうございました。今号では、佳作に選ばれた27句をご紹介します。





行事報告

希望会 ソフトボール大会



- 4月15日(水)
- 日進市総合運動公園
- 参加人数:8名

スタッフが
選手に加わり
親善試合

デイケア いちご狩り



- 4月23日(木)
- 蒲郡オレンジパーク
- 参加人数:40名



デイケア バーベキュー



- 5月15日(金)
- 当院グラウンド
- 参加人数:40名

ごちそうさ
ま
でした!

室内ゴルフ大会



- 5月27日(水)
- 京ヶ峰ホール
- 参加人数:100名超



希望会 ゲートボール大会



- 6月5日(金)
- 庄内緑地公園
- 参加人数:11名

2チーム出場し
両チームとも
1勝1敗

七夕納涼会



短冊を書いて
かき氷を食べ、
同じフロアで
開催中の
京ヶ峰倶楽部展も
見学しました。

- 7月8日(水)
- 京ヶ峰ホール
- 参加人数:
275名

中央2病棟 希望食

- 4月14日(火)
- ・ご飯 ・お好み焼き
- ・マスタード炒め
- ・小松菜としめじのごま和え
- ・抹茶水ようかん



中央3病棟 希望食

- 6月12日(金)

- ・天とじ丼
- ・すまし汁
- ・コーヒゼリー



手作りの日

- 6月17日(水)
- ・牛焼き肉丼 ・ナムル
- ・わかめスープ
- ・手作りプリン



当院へのアクセス



[交通]

- JR「相見」駅より車で約5分、「岡崎」駅より車で約10分
- JR岡崎駅・相見駅、明大寺、康生と病院を結ぶ巡回バスを運行しています。

おすすめ コーナー

北海道 海鮮と小樽の散策

私のおすすめは、美味しいものと静かな街並みを巡る北海道の旅です。一番の楽しみは、やはり鮮度の良い海鮮。根室花まるやトリトンでいただく脂ののったネタは、わざわざ足を運んだ甲斐があったと思える納得の美味しさでした。その後は小樽を訪ね、オルゴール堂の音色に触れたり、ルタオ本店で焼きたてのフィナンシェを味わったり。派手さはありませんが、とても満たされた時間を過ごせます。皆さんも、機会があれば一度訪れてみてはいかがでしょうか。

中央3病棟 佐々木
(※次号は外来が担当します。よろしくお願いいたします。)

編集 後記

地域懇談会と京ヶ峰倶楽部展という大きな行事が無事に実施できました。次は、11月15日(日)に行われる「京ヶ峰ふれあいまつり」です。実行委員の職員が会議を重ね準備をしています。ぜひ、たくさんの方にお越しいただきたいと思います。お待ちしております。 広報委員 佐野



医療法人芳精会
京ヶ峰岡田病院



〒444-0104 愛知県額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔8
TEL (0564) 62-1421 FAX (0564) 62-9338
ホームページ www.kyogamine-okada.com

